

作成日 2018/06/25

改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	モノタロウ コンパウンド 極細液状 肌調整用 高硬度塗膜対応
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当部門	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
整理番号	M191127

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性

急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 区分4
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分2
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2A
 生殖細胞変異原性 区分2
 発がん性 区分1A
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(肺)
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(肺 皮膚)

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
 危険有害性情報

危険
 H315 皮膚刺激
 H319 強い眼刺激
 H332 吸入すると有害
 H335 呼吸器への刺激のおそれ
 H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
 H350 発がんのおそれ
 H371 肺の障害のおそれ
 H372 長期にわたる、又は反復ばく露による肺、皮膚の障害

注意書き
 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 (P202)
 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 (P260)
 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
 取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 (P270)
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 (P280)

応急措置

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
 (P302+P352)

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314)

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。(P332+P313)

眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362+P364)

保管

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。(P403+P233)

廃棄

施錠して保管すること。(P405)

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
ジエタノールアミン	1%未満	(HOCH ₂ C H ₂) ₂ NH ₂	(2)- 302,(2)-	既存	111-42-2
鉱油	10～20%	不明	不明	不明	不明
酸化アルミニウム	30～40%	Al ₂ O ₃	(1)-23	既存	1344-28-1
灯油	1～10%	不明	不明	不明	8008-20-6

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

皮膚を速やかに洗浄すること。

医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

		医師の診断、手当てを受けること。
5. 火災時の措置		
消火剤		粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧、砂、一般の泡消火剤。
使ってはならない消火剤		周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。 棒状注水。
特有の危険有害性		火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法		加熱により容器が爆発するおそれがある。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護		消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置		直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
		関係者以外は近づけない。 風上に留まる。 立ち入る前に、密閉された場所を換気する。 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
		漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。 低地から離れる。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 環境中に放出してはならない。
環境に対する注意事項		河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 本製品は、水汚染物なので土壌汚染、もしくは排水溝及び排水系及び大量の水に流入することを防止する。
封じ込め及び浄化の方法 及び機材		危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策		乾燥した土、砂あるいは不燃性物質で吸収し、あるいは覆って容器に移す。 すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	安全取扱注意事項	使用前に使用説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
		この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
		取扱い後はよく手を洗うこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

		<p>空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。</p> <p>排気用の換気を行うこと。</p> <p>接触、吸入又は飲み込まないこと。</p> <p>取扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>施錠して保管すること。</p> <p>包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。</p>
保管	<p>衛生対策</p> <p>安全な保管条件</p> <p>安全な容器包装材料</p>	
8. ばく露防止及び保護措置 設備対策		<p>本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。</p> <p>取扱いについては全体換気装置を設置した場所で行う。</p>
保護具	<p>呼吸器の保護具</p> <p>手の保護具</p> <p>眼の保護具</p> <p>皮膚及び身体の保護</p>	<p>適切な呼吸器保護具を着用すること。</p> <p>保護手袋を着用すること。</p> <p>保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)。</p> <p>必要に応じて個人用の保護衣、保護面を使用すること。</p>
9. 物理的及び化学的性質 外観	<p>物理的状态</p> <p>形状</p> <p>色</p>	<p>液体</p> <p>粘稠液体</p> <p>白色</p>
臭い		データなし
臭いのしきい(閾)値		データなし
pH		約9.3
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		引火せず
蒸発速度		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲	<p>下限</p> <p>上限</p>	<p>データなし</p> <p>データなし</p>
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重(密度)		約1.30
溶解度		データなし
n-オクタノール／水分配 係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
動粘性率		データなし
10. 安定性及び反応性 反応性		情報なし
化学的安定性		通常の取扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性		情報なし
避けるべき条件		情報なし
混触危険物質		情報なし
危険有害な分解生成物		情報なし
11. 有害性情報		

急性毒性	経口	急性毒性推定値が164926.2626263mg/kgのため区分外に該当。 毒性未知成分が考慮濃度(0.1%)以上なので、区分外から分類できないに変更。
	経皮	急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分外に該当。 毒性未知成分が考慮濃度(0.1%)以上なので、区分外から分類できないに変更。
	吸入	(気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) 急性毒性推定値が2.25mg/lのため区分4に該当。 区分2の成分合計が10.99%のため、区分2に該当。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		10×(眼区分1+皮膚区分1)+眼区分2Bの成分合計が29.99%のため、区分2Aに該当。
呼吸器感作性又は皮膚感作性		(呼吸器感作性) データ不足のため分類できない。 (皮膚感作性) 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分が考慮濃度(0.1%)以上なので、区分外から分類できないに変更。
生殖細胞変異原性発がん性		区分2の成分が20%のため、区分2に該当。 区分1Aの成分が20%のため、区分1Aに該当。 ※区分2は0.99%含まれる。
生殖毒性		(生殖毒性) 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分が考慮濃度(0.1%)以上なので、区分外から分類できないに変更。 ※区分2は0.99%含まれる。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		区分2(肺)の成分が20%のため、区分2(肺)に該当。 区分3(気道刺激性)の成分合計が50%のため、区分3(気道刺激性)に該当。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分1(吸入:肺)の成分が40%のため、区分1(吸入:肺)に該当。 区分1(肺)の成分が20%のため、区分1(肺)に該当。 区分1(皮膚)の成分が20%のため、区分1(皮膚)に該当。
吸引性呼吸器有害性		動粘性率が不明のため、分類できないに該当。
12. 環境影響情報		
水生環境有害性(急性)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が9.9%のため、区分外に該当。 毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。
水生環境有害性(長期間)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が0.99%のため、区分外に該当。 毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。

オゾン層への有害性

データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報
Marine Pollutant
Transport in bulk
according to
MARPOL
73/78, Annex II, and
the IBC code.

非該当
Not applicable
Not applicable

国内規制

航空規制情報
陸上規制
海上規制情報
海洋汚染物質
MARPOL 73/78 附
属書II 及びIBC コー
ドによるばら積み輸
送される液体物質

非該当
非該当
非該当
非該当
非該当

緊急時応急措置指針番号

航空規制情報

非該当
なし

15. 適用法令
化審法
労働安全衛生法

優先評価化学物質(法第2条第5項)
名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

水質汚濁防止法
海洋汚染防止法

灯油(政令番号:380)(1%-10%)
酸化アルミニウム(政令番号:189)(30%-40%)
ジエタノールアミン(政令番号:219)(1%未満)
指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)
油(施行規則第2条)
油性混合物(法第3条第2号、施行規則第2条の2)

外国為替及び外国貿易法

危険物(施行令別表第1の4)
有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)
輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」

特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)

輸出貿易管理令別表第1の16の項
輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認)
廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの(平10三省告示1号)

水道法

有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)

16. その他の情報
参考文献

製造元メーカー提供資料
NITE GHS分類結果一覧
JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法
JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達
方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート
(SDS)

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス
日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム「ezSDS」
により作成。

その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱い
には十分注意して下さい。